

# 電子薬歴との連動による保険薬局在宅業務 支援システムの開発と活用について

○坂本 徹、小下 和也、松谷 優司、一ノ瀬 有記  
岡田 光市、古屋 裕一、小早川 正和、多田 浩明  
古屋 憲次  
(株) ホロン すずらん薬局グループ

三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 近内 誠  
千代田興産株式会社中国支店 草井 泰樹



## 【はじめに】

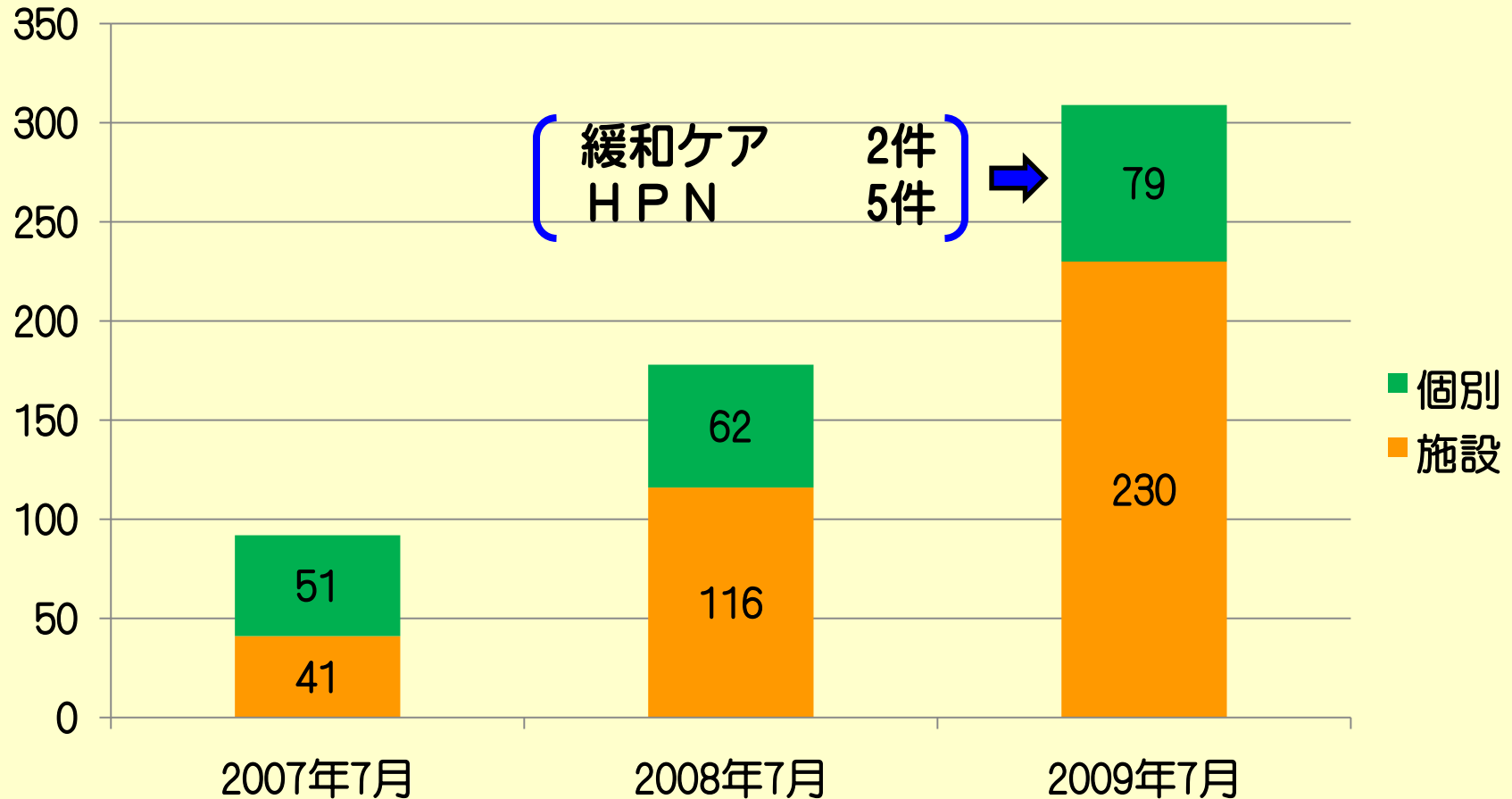
在宅における保険薬局薬剤師への社会的要求は、緩和医療・ターミナルケア・HPN・休日夜間対応など年々高まっている。また地域連携の中で多職種間の情報共有は不可欠であるが、薬剤師にとって、**通常業務にプラスして多くの事務作業が負担になっている現状がある。**

今回当薬局グループでは、在宅業務支援システムを三菱電機インフォメーションシステムズ(株)と共同開発をしたので報告する。

# 【目 的】

1. 居宅訪問時にモバイル薬歴を持参することで薬歴情報を参照した的確な服薬指導が可能となること。
2. 訪問中に薬歴入力ができること。
3. 薬歴記載情報を医師や他職種への情報提供書に自動的に移行できるようにすること。
4. 指導計画書・服薬情報提供書の入力項目を極力選択方式にすることで、事務作業の省力化をはかり薬剤師の本来業務に注力できること。

# 在宅患者数推移



在宅における薬剤師への社会的ニーズは年々増加しており、効率的な活動が不可欠である。

# 【方 法】

1. 通信速度・セキュリティーなどの問題で、訪問時に患者薬歴をモバイル端末に移行する方法とした。
2. 服薬情報提供書は共通化を目的に日薬資料B3(1)(例2)などに準じた。
3. 薬歴の記載内容をできる限り報告書に、そのままリンク出来るようにした。
4. 薬学的管理指導計画書については前回計画書を参照修正することで省力化した。

## モバイル電子薬歴

薬局の薬歴データをモバイルPCに入れて訪問先で利用している。

訪問先

格称 処方せん  
高併 訪問中

薬局のレセコン

薬局

# 訪問薬剤管理指導報告書

## 服薬情報提供書

広島市安佐南区川内1丁目15-3

すずらん薬局川内店  
TEL 082-831-2800 FAX 082-831-2811

患者氏名	■■■■	生年月日	昭和12年 月 日
薬剤師氏名	一ノ瀬 有記		
訪問日	平成21年08月13日	処方せん発行日	平成21年08月12日

処方薬の服用状況	服用状況判断	残薬状況等
定期処方	良好	
エンシュア・リキッド	良好	1日1缶弱、あまり摂取できていません。
ダイアップ坐剤10	—	12個残あるとのお話でした。

調剤方法：ワンドーズ包装（有） 粉砕（有） その他（ ）

説明対象者		妻	
理解度	良	管理/保管状況	良
服薬状況	良	副作用	無
服薬中の体調変化	無	体質・アレルギー・副作用	無
併用薬	無	合併症	無
他科受診	無	その他の特記事項	無
副作用が疑われる症状	無		

患者主訴	患者主訴	患者主訴
Et(薬)調子が悪いので、常に顔色を見て様子を観察するのに疲れてきた。本人は日中もぼーっとして、歩くのも難しいのにトイレに行きたがるから介助が大変。	Et(薬)調子が悪いので、常に顔色を見て様子を観察するのに疲れてきた。本人は日中もぼーっとして、歩くのも難しいのにトイレに行きたがるから介助が大変。	Et(薬)調子が悪いので、常に顔色を見て様子を観察するのに疲れてきた。本人は日中もぼーっとして、歩くのも難しいのにトイレに行きたがるから介助が大変。

食事	排便
食欲（無）量（少）回数（3回/日）	尿回数（昼： 回、夜： 回）
味覚（良好）	便秘（—）
嚥下障害・むせこみ（有）	発汗（—）
薬SE影響（—）	薬SE影響（—）
摂取量減、服薬も時間がかかっています。	

睡眠	運動
日中の睡眠 有（時間）	夜間睡眠（時間）
夜間睡眠（時間）	—
眠剤（就寝前の安定剤）がある場合	—
【不眠の種類】	—
眠剤服用：時	眠剤の効果判定・適合・副作用
入床：時	用など
服用後の環境（TVや電気）	
薬SE影響（—）	

レイアウト1

## 訪問薬剤管理指導報告書

情報提供医療機関名： ■■■■  
担当医： ■■■■ 先生御侍史

すずらん薬局川内店  
広島市安佐南区川内1丁目15-3

TEL: 082-831-2800  
FAX: 082-831-2811

保険薬剤師名： 一ノ瀬 有記 印

下記の患者へ対しての、服薬指導の内容をご報告いたします。

患者情報	氏名	■■■■	性別	男
	住所	中区■■■■■■■■■■	生年月日	昭和12年 月 日
			電話	082-■■■■
	指導対象者	妻		

処方箋発行日	平成21年08月12日	訪問指導日	平成21年08月13日
--------	-------------	-------	-------------

報告事項	ジアゼパム：半減期長いため継続使用による体内残存が考えられます。転倒など注意が必要です。																		
患者・家族主訴・要望	Et(妻)調子が悪いので、常に顔色を見て様子を観察するのに疲れてきた。本人は日中もぼーっとして、歩くのも難しいのにトイレに行きたがるから介助が大変。																		
指導内容	処方されている薬の基本的な薬効・用法・保管方法を説明 服用中に気になることがあった場合はすぐに連絡するように指導 転倒のないように、充分注意を払って介助してください。奥様にも負担のないように。																		
チェック項目	<table border="1"> <tr><td>服薬状況</td><td>良</td></tr> <tr><td>服薬中の体調変化</td><td>無</td></tr> <tr><td>併用薬</td><td>無</td></tr> <tr><td>他科受診</td><td>無</td></tr> <tr><td>副作用が疑われる症状</td><td>無</td></tr> <tr><td>飲食物の相互作用</td><td>無</td></tr> <tr><td>体質・アレルギー・副作用</td><td>無</td></tr> <tr><td>合併症</td><td>無</td></tr> <tr><td>その他の特記事項</td><td>無</td></tr> </table>	服薬状況	良	服薬中の体調変化	無	併用薬	無	他科受診	無	副作用が疑われる症状	無	飲食物の相互作用	無	体質・アレルギー・副作用	無	合併症	無	その他の特記事項	無
服薬状況	良																		
服薬中の体調変化	無																		
併用薬	無																		
他科受診	無																		
副作用が疑われる症状	無																		
飲食物の相互作用	無																		
体質・アレルギー・副作用	無																		
合併症	無																		
その他の特記事項	無																		
その他	なし																		

レイアウト2

# 電子薬歴から報告書への引用(1)

「電子薬歴」で入力したコメントを「報告書」に引用することができる。

7

## 訪問薬剤管理指導報告書

「指導文S (Subjective)」を「患者主訴」に引用

「指導文A (Assessment)」を「考察・薬学管理指導・説明のポイント」に引用

「指導文P (Plan)」を「次回の申し送り事項および計画」に引用

電子薬歴



## 訪問計画書

薬学的管理指導計画書 平成21年07月分

患者情報	氏名				
	性別	男			
	生年月日	昭和12年 月 日			
	住所	中区			
	電話	082-			
	医療機関名 処方医名				
訪問予定日		07月02日	07月16日	07月30日	
訪問予定回数		3回			
処方医等からの情報	傷病名	不全麻痺、嚥下困難			
	ADL	食事	移動	会話	排尿
		自立	自立	正常	自立
	嚥下困難	感染の有無	禁忌薬	認知状態	褥創
		あり (未選択)	(未選択)	なし (未選択)	(未選択)
	処方医等からの要望	■ 服薬状況のチェック	■ 他科受診による併用薬剤のチェック		
		<input type="checkbox"/> 残薬チェック	<input type="checkbox"/> 薬効説明と服薬指導		
		<input type="checkbox"/> 副作用発現の有無	<input type="checkbox"/> 薬剤の保管・管理の指導		
		<input type="checkbox"/> OTC・健康食品の使用状況	<input type="checkbox"/> 介護用品の利用相談		
		<input type="checkbox"/> 状態にあった栄養補助食品の情報提供	<input type="checkbox"/> その他のケア商品		
<input type="checkbox"/> その他					
その他					
介護状況		介護者	妻		
処方薬に関する情報		薬の管理者	妻	薬の管理状況 一包化	
併用薬に関する情報		他科受診 無	併用薬 無	OTC併用 無 健康食品 無	
実施すべき指導の内容		■ 薬効用法の説明と服薬指導		特記事項	
		<input type="checkbox"/> 残薬確認	抗けいれん薬の効果について追跡		
		■ 服薬状況の確認	食事と睡眠の状態についてチェック		
		■ 薬剤の保管管理の指導・確認	が「777」不足しないように定期的にチェック		
		<input type="checkbox"/> 副作用発現の有無	定期的に「イビシ、ショートストイ		
		<input type="checkbox"/> 他科受診の有無	嚥下困難あり、粉砕		
作成日		平成21年07月02日			
薬局名		すずらん薬局川内店			
担当薬剤師		一ノ瀬 有記 [印]			

前回計画書に  
記録した内容を  
引用して  
今回計画書に  
利用出来ます



薬学的管理指導計画書 平成21年08月分

患者情報	氏名				
	性別	男			
	生年月日	昭和12年 月 日			
	住所	中区			
	電話	082-			
	医療機関名 処方医名				
訪問予定日		08月13日	08月27日		
訪問予定回数		2回			
処方医等からの情報	傷病名	不全麻痺、嚥下困難			
	ADL	食事	移動	会話	排尿
		自立	自立	正常	自立
	嚥下困難	感染の有無	禁忌薬	認知状態	褥創
		あり (未選択)	(未選択)	なし (未選択)	(未選択)
	処方医等からの要望	■ 服薬状況のチェック	■ 他科受診による併用薬剤のチェック		
		<input type="checkbox"/> 残薬チェック	<input type="checkbox"/> 薬効説明と服薬指導		
		<input type="checkbox"/> 副作用発現の有無	<input type="checkbox"/> 薬剤の保管・管理の指導		
		<input type="checkbox"/> OTC・健康食品の使用状況	<input type="checkbox"/> 介護用品の利用相談		
		<input type="checkbox"/> 状態にあった栄養補助食品の情報提供	<input type="checkbox"/> その他のケア商品		
<input type="checkbox"/> その他					
その他					
介護状況		介護者	妻		
処方薬に関する情報		薬の管理者	妻、娘	薬の管理状況 一包化	
併用薬に関する情報		他科受診 無	併用薬 無	OTC併用 無 健康食品 無	
実施すべき指導の内容		■ 薬効用法の説明と服薬指導		特記事項	
		<input type="checkbox"/> 残薬確認	抗けいれん薬の効果について追跡		
		■ 服薬状況の確認	食事と睡眠の状態についてチェック		
		■ 薬剤の保管管理の指導・確認	が「777」不足しないように定期的にチェック		
		<input type="checkbox"/> 副作用発現の有無	定期的に「イビシ、ショートストイ		
		<input type="checkbox"/> 他科受診の有無	嚥下困難あり、粉砕		
作成日		平成21年08月01日			
薬局名		すずらん薬局川内店			
担当薬剤師		一ノ瀬 有記 [印]			

嚥下困難あり、粉砕  
薬の家をリフォームし転居予定。  
**追記した箇所**

# 【結果・考察】

1. モバイル薬歴を携帯することで
  - ①より適切な服薬指導・管理をすることができた。
  - ②訪問スケジュールの合間に入力することで帰局後の事務作業の軽減と効率の良い稼働ができるようになった。
2. 薬歴入力内容とのリンクで指導計画書、服薬情報提供書の作成時間の大幅な短縮ができた結果
  - ①1日に訪問する患者数を増やすことができた。

- ②訪問滞在時間の延長が可能になり、より緊密な患者対応で、信頼関係を築き易くなった。
- ③医師訪問やケアマネージャーとの連携、カンファレンス参加などの時間確保が容易となり、より緊密な多職種連携ができるようになった。
- ④残業時間の短縮ができた。

# 【今後の課題】

12

1. モバイルに移行した薬歴データを薬局でも参照できる必要がある。
2. 移行時のダウンロード時間の短縮。
3. 報告書フォーマットに文字数制限があるため必要な情報が別紙になることがあり改善を要する。
4. 報告書の薬歴入力内容とのリンク項目を増やし自動化を加速すると共に前回との継続性を高める。
5. 最終的には休日夜間対応電子薬歴参照システムとの共通化で、いつでもどこでも緊急時に対応可能を目標にする。
6. モバイル薬歴をより有効に使用するために、2人1組での訪問や、運転手との同行など人員配置の検討の余地あり。